



## 🔥 備えあれば憂いなし

2学期早々、避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、地震と火災を想定しましたが、これは、今から約100年前の1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。関東大震災では、ちょうど昼食時に地震が発生したことにより、火を使っていた家庭から出火し、地震による家屋の倒壊以上に、火事によって多くの方が亡くなりました。まず最優先することは、自分の命を守り安全な場所にすぐ避難することですが、揺れが小さい場合や身の安全が確保できそうな場合は、すぐに火の元を確認して、火事によって自分や周りの人の命を守るように考えることも大切です。

南海トラフ地震が、いつ、どこで、どんな時に起こるのかは、まったくわかりません。だからこそ、学校外にいた場合に、どう避難するか、どこへ避難するか、家族との連絡はどうとるか、最低限必要な防災グッズは何か、準備しておく必要があります。



## 🔥 常磐学区地域避難訓練

常磐小学校の児童、教職員で避難訓練を行いました。岡崎市地域総合防災訓練として、常磐学区全体でも、避難訓練が実施されました。

早朝より、学区の皆さんが常磐小学校へ避難してきて、消防団による消火訓練や応急手当訓練、水道局による応急給水訓練、関係機関や地域の方々による避難所運営訓練、仮設住宅設営訓練等行われ、防災に対する意識を高め、災害に対処する方法を学びました。



また、シェイクアウト訓練と言って、地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練を実施し、地震発生時に素早く自分の身を守る方法を学びました。



防災に対して、「自助、共助、公助」が大切です。「自助」とは、家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分で守る事です。「共助」とは、地域の災害時要援護者の避難に協力したり、地域の方々とのつながりを深め、常磐学区全体で、お互いの命を守りあっていくことが大切です。